

新旧対照表

《セブンカード会員規約（一般法人用） 全文》

※追加箇所は赤字下線、削除箇所は青字訂正線

現行	改定後	備考
<p>第19条（ショッピングの利用）</p> <p>3. インターネット等によるオンライン取引等の通信手段を用いた非対面取引その他当社が特に認めた取引を行う加盟店においては、会員は、加盟店所定の方法で、カード情報等を送信もしくは通知する方法により、または当該方法に加えてセキュリティコードもしくはJ/Secure (TM) 利用者規定に定めるパスワードを送信する方法により、ショッピング利用を行うことができます。この場合、カード使用者は当社所定の方法によりカードの提示および売上票への署名を省略することができます。</p> <p>7. ショッピング利用のためにカード（カード情報を含みます。以下、本項において同じとします。）が加盟店に提示または通知された際、カードの第三者による不正利用を防止する目的のために、当社は以下の対応をとることができます。</p> <p>（4）ショッピング利用の申込者に対して、セキュリティコードまたはJ/Secure (TM) 利用者規定・VISA認証サービス利用者規定に定めるパスワードの入力を求める場合があります。当該ショッピング利用の申込者がセキュリティコードまたはJ/Secure (TM) 利用者規定・VISA認証サービス利用者規定に定めるパスワードを誤って入力した場合、カード使用者によるカードの利用を一定期間制限することがあります。</p>	<p>第19条（ショッピングの利用）</p> <p>3. インターネット等によるオンライン取引等の通信手段を用いた非対面取引その他当社が特に認めた取引を行う加盟店においては、会員は、加盟店所定の方法で、カード情報等を送信もしくは通知する方法により、または当該方法に加えてセキュリティコードもしくは本人認証サービスを利用するためのパスワードを送信する方法により、ショッピング利用を行うことができます。この場合、カード使用者は当社所定の方法によりカードの提示および売上票への署名を省略することができます。</p> <p>7. ショッピング利用のためにカード（カード情報を含みます。以下、本項において同じとします。）が加盟店に提示または通知された際、カードの第三者による不正利用を防止する目的のために、当社は以下の対応をとることができます。</p> <p>（4）ショッピング利用の申込者に対して、セキュリティコードまたは本人認証サービスを利用するためのパスワードの入力を求める場合があります。当該ショッピング利用の申込者がセキュリティコードまたは本人認証サービスを利用するためのパスワードを誤って入力した場合、カード使用者によるカードの利用を一定期間制限することがあります。</p>	<p>【改定】</p> <p>サービス名称変更のため</p>

《会員情報の取扱いに関する重要事項》

※追加箇所は赤字下線、削除箇所は青字訂正線

現行	改定後	備考
<p>第2条 会員情報の利用</p> <p>1. 会員等は、当社が以下の目的のために前条第1項（1）、（2）、（3）、（4）の会員情報を利用することに同意します。</p> <p>（2）クレジットカード事業に関する新商品・新機能・新サービス等の開発、改善および市場調査</p>	<p>第2条 会員情報の利用</p> <p>1. 会員等は、当社が以下の目的のために前条第1項（1）、（2）、（3）、（4）の会員情報を利用することに同意します。</p> <p>（2）クレジットカード事業に関する新商品・新機能・新サービス等の研究開発、改善および市場調査（<u>会員等の情報から行動・関心等の情報を分析することを含みます。</u>）。</p>	<p>【改定】</p> <p>目的の明確化</p>
<p>2. 割賦販売法等に基づき第三者によるカード番号の不正利用の防止を図る業務を行うため、インターネット等によるオンライン取引等の通信手段を用いた非対面取引で、オンライン取引情報とデバイス情報に含まれる第1条第1項</p>	<p>2. 割賦販売法等に基づき第三者によるカード番号の不正利用の防止を図る業務を行うため、インターネット等によるオンライン取引等の通信手段を用いた非対面取引で、オンライン取引情報とデバイス情報に含まれる第1条第1項</p>	<p>【改定】</p> <p>サービス名称変更のため</p>

<p>(10) (11)の個人情報を使用して本人認証を行うこと。なお、当該分析の結果、当該非対面取引が第三者によるカード番号の不正利用である可能性が相対的に高いと判断された取引については、当社は会員らの財産の保護を図るため、追加の本人確認手続きを求めたり、当該非対面取引におけるショッピング利用を拒絶したりする場合があります。当社は当該業務のために、第1条第1項(10) (11)の個人情報を不正検知サービスを運営する事業者に提供し、当該事業者から当該事業者が行った分析結果を受領します。また当該事業者は、会員によるオンライン取引完了後も当該個人情報を個人が直接特定できないような形式に置き換えたうえで一定期間保管し、当該事業者内において、当該事業者が提携する当社以外の組織向けの不正検知サービスにおける分析のためにも当該情報を使用します。詳細については、当社のホームページ内のJ/Secure(TM) サービス利用者規定・VISA認証サービス利用者規定に関する案内にてご確認ください。</p>	<p>(10) <u>(11)</u>の個人情報を使用して本人認証を行うこと。なお、当該分析の結果、当該非対面取引が第三者によるカード番号の不正利用である可能性が相対的に高いと判断された取引については、当社は会員らの財産の保護を図るため、追加の本人確認手続きを求めたり、当該非対面取引におけるショッピング利用を拒絶したりする場合があります。当社は当該業務のために、第1条第1項(10) <u>(11)</u>の個人情報を不正検知サービスを運営する事業者に提供し、当該事業者から当該事業者が行った分析結果を受領します。また当該事業者は、会員によるオンライン取引完了後も当該個人情報を個人が直接特定できないような形式に置き換えたうえで一定期間保管し、当該事業者内において、当該事業者が提携する当社以外の組織向けの不正検知サービスにおける分析のためにも当該情報を使用します。詳細については、<u>別途当社が定める規約をご確認ください。</u></p>	
<p>第4条 会員情報の共同利用</p> <p>1. 会員等は第1条第1項 (1)、(2)、(3)、(4)の会員情報を当社と当社の親会社である株式会社セブン&アイ・ホールディングスおよびその関連企業、ならびにこれらの会社のうちフランチャイズ事業を行っている会社のフランチャイズ加盟店(以下「セブン&アイHLDGS.」といいます。)が以下の目的のために共同して利用すること(以下「共同利用」といいます。)に同意します。なお、共同利用する各社については、<https://www.7andi.com/>に掲載しております。</p> <p>—(1) ポイントサービスの提供。</p> <p>—(2) セブン&アイHLDGS.が取扱うサービス・商品の開発。</p> <p>—(3) セブン&アイHLDGS.が取扱うサービス・商品についてのお得情報のご案内。</p> <p>—(4) セブン&アイHLDGS.でのお買物に関するご連絡やご案内。</p> <p>2. 当社とセブン&アイHLDGS.は、前項により共同利用する会員等の会員情報を厳正に管理し、会員等のプライバシー保護に十分に注意を払うとともに前項に定める目的以外には利用しないものとします。なお、会員情報の管理については当社が責任者となります。</p>	<p>第4条 会員情報の共同利用</p> <p>1. 会員等は第1条第1項 (1)、(2)、(3)、(4)の会員情報を当社と当社の親会社である株式会社セブン&アイ・ホールディングスおよびその関連企業、ならびにこれらの会社のうちフランチャイズ事業を行っている会社のフランチャイズ加盟店との間で、<u>個人情報保護に関する法令に基づき</u>共同して利用すること(以下「共同利用」といいます。)に同意します。<u>この場合、当社は、共同利用する会員等の会員情報を個人情報保護に関する法令に従って厳正に管理し、会員等のプライバシー保護に十分に注意を払うとともに、当社所定の「個人情報保護方針」(当該方針内記載の「会員」は「会員等」と読み替えるものとします。)</u>に定める目的以外には利用しないものとします。</p> <p>2. <u>前項に定めるほか、共同利用に際して個人情報保護に関する法令によりあらかじめ通知または本人が知り得る状態に置くこととされている事項については、当社所定の「個人情報保護方針」に定めるものとし、これを当社ホームページに掲載する方法により、会員等が知り得る状態に置くものとします。</u></p>	<p>【改定】 改正個人情報保護法対応</p>